

**2019年度  
児童思春期心理療法セミナー  
ご案内**

**「新たなる思春期・青年期の心理臨床」**

第1回 2019年 7月 15日(月・祝)

館 直彦先生 「青年期の発達論と精神病理」

第2回 2019年 9月 23日(月・祝)

飛谷 渉先生 「デジタル・ネイティブ時代の思春期を理解するためにー  
メルツァーの思春期グループ論と心の脱皮としての思春期」

第3回 2019年 11月 4日(月・祝)

脇谷 順子先生 「今日を生きる子どもたちとの心理療法」

主催 : 谷町こどもセンター ・ 関西心理センター

〒542-0012 大阪府中央区谷町9丁目3-11 東谷町ビル 3F

Tel 06(6767)6701(代) Fax 06(6767)6702

ホームページ <http://www.kansai-kodomo.jp/>

若葉の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

元号が令和になったこの時期に、谷町こどもセンター・関西心理センターも設立 25 周年を迎えることができました。この四半世紀の間に、IT 機器の発展により我々の環境は急速に変化し、子どもを取り巻く環境も随分と変わりました。

日本において一般的な思春期・青年期論といえば、ピーター・ブロスがあげられますが、その内容は 1960 年代と、全てをそのまま現代社会の思春期・青年期の若者に当てはめるわけにもいかに思われます。急速な社会環境の変化は思春期・青年期の心の発達にどのような影響を与えているのか、昔の若者の心性と今の若者の心性はどこが普遍的で、なにが変わったのか、今一度たちどまって、今日の思春期・青年期の若者のこころのあり方、思春期・青年期論について考えてみる必要があるのではないかと本企画を立ち上げました。

館先生には、基調講演として精神医学からの思春期・青年期論の振り返りとその後の展開について、飛谷先生には思春期のグループ心性の意義と新しい思春期像について、脇谷先生には思春期に入る前の前思春期・潜伏期の発達課題や現代社会の影響についてご講義いただく予定です。難しいテーマですが、皆様とともに深く学び、臨床現場に還元できる有意義なセミナーにしていきたいと思っております。

是非、皆様に積極的にご参加いただけますよう、お願いいたします。

谷町こどもセンター・関西心理センター  
所長 野宮新

## 《プログラム》

〈時間〉: 【受付】 12:00～

【講義】 12:30～14:40

【事例検討】 15:00～17:30 (各回事例発表を募集します。)

〈会場〉: 大阪府社会福祉会館(大阪府中央区谷町7丁目4番15号)

地下鉄谷町線・鶴見緑地線: 谷町6丁目駅下車

各回、会場のお部屋が異なりますので、ご注意ください。

第1, 3回目: 大阪府社会福祉会館 301

第2回目: 大阪府社会福祉会館 403

## 《講師紹介》

館 直彦先生 : たちメンタルクリニック/大阪市立大学大学院  
(精神科医、臨床心理士、日本精神分析学会認定精神療法医スーパーバイザー)

飛谷 渉先生 : 大阪教育大学保健センター准教授  
(精神科医、日本精神分析学会認定精神療法医スーパーバイザー)

脇谷 順子先生 : 杏林大学保健部教授/認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会  
(臨床心理士、英国児童青年心理療法士)

第1回目 令和元年7月15日(月・祝)

大阪府社会福祉会館 301

「青年期の発達論と精神病理」 館 直彦先生

青年期の発達論に最初に注目したのは自我心理学であり、A・フロイトの発達ライン、E・Hエリクソンのライフサイクル論、ピーター・ブロスの段階特異性と発達課題の研究などは、対象関係論の立場にたつとしても、私たちに基本的準拠枠を与えてくれる。そこから、マーガレット・マラー、マスターソン、カーンバーグらの境界パーソナリティの理論が展開したのである。しかし、環境の変化に伴って、現代の青年は新たな課題に直面させられていると言えるだろう。ここではそうした流れを踏まえつつ、ナルシズムと身体性を中心に、現代の青年の課題をどのように理解するか、どのように治療的に接近できるかについて論じていきたい。

第2回目 令和元年9月23日(月・祝)

大阪府社会福祉会館 403

「デジタル・ネイティブ時代の思春期を理解するためにー  
メルツァーの思春期グループ論と心の脱皮としての思春期」

飛谷 渉先生

思春期に関する精神分析的な理解では、それを「第二の個体化プロセス」として論じたピーター・ブロスの自我心理学的アプローチが一般的であった。今回は、思春期をグループ心性の次元から概念化した英国クライン派のナルド・メルツァーによる斬新な思春期論を紹介する。また、思春期を心の皮膚の脱皮になぞらえるなら、思春期にはエスター・ビックのいう心的皮膚の一過性破綻が生じる中でパーソナリティが再編成され社会化するプロセスであるとみることができる。そうした新しい思春期論をもとに、デジタル・ネイティブ時代といわれる現代の思春期の心の在り様について考える機会としたい。

第3回目 令和元年11月4日(月・祝)

大阪府社会福祉会館 301

「今日を生きる子どもたちとの心理療法」 脇谷 順子先生

今日の子どもたちや親子関係にとって、精神分析的な心理療法はどのような助けになり得るのでしょうか。親子関係、家族関係、心の発達の普遍的な面、および時代や社会により変化している面の両方を見据えながら、今を生きる児童期～前思春期の子どもについて、そして、彼らとの精神分析的な心理療法の可能性について考える時間になればと思います。

### 申込み方法

《対象》 臨床心理士、公認心理師、精神科医、小児科医、その他医療・教育・福祉等で臨床に携わっておられる職種、あるいは現在、心理臨床を学んでいる大学院生で守秘義務を遵守できる方。

《定員》 100名

《受講料》 一般 全3回 21,000円 (1回: 9,000円 / 2回: 18,000円)

院生 全3回 18,000円 (1回: 7,000円 / 2回: 14,000円)

《申込み・お振込み期限》

第1回から もしくは 第1回のみご参加の方 6月28日(金)まで

第2回以降 もしくは 第2回のみご参加の方 8月30日(金)まで

第3回のみご参加の方 10月15日(火)まで

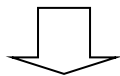
※ 但し振込みを確認した時点で先着順に受講者とさせていただきます。

・各回、事例発表者を募集しています。ご希望の場合は、申込み用紙「事例の発表の希望」を“有”にチェックしてください。後日、こちらよりご連絡いたします。積極的なご参加をお待ちしております。

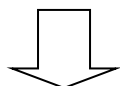
《申込み手続き》

- ① センターHP <http://www.kansai-kodomo.jp/> 内のお申込みフォームからお申込みください。

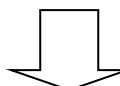
なお、FAX(06-6767-6702)や郵送、Eメール(申込み用紙添付)[送信 tanimachiseminar@yahoo.co.jp](mailto:tanimachiseminar@yahoo.co.jp) でのお申込みも可能です。



- ② 下記の銀行口座に受講料をお振込み下さい。お振込みをもって、(仮)受講受付 となります。



三菱UFJ銀行 上本町支店 普 1097522 株式会社 カソウ 代表取締役 鍋島 弘美
---



- ③ 6月28日までにお振込みいただいた方には、7月1日以降に、受講受付完了のお知らせと会場までの地図をメールにてご連絡いたします。本メールをもって受講受付完了です。  
6月28日以降にお振込みいただいた方にも、順次ご連絡いたします。

※ 一度納入頂きました受講料は、返金いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。

定員に達し、受講できない方のみ納入されました受講料は返金いたします。

※ 受講票はございませんので、お振込みの控えは、大切に保管のほどをお願いいたします。


※ 自然災害やそれによる交通機関の障害によって、セミナーを中止する場合があります。

その際、受講料は返金いたします。中止の情報は当センターのホームページをご参照下さい。

※ 日本臨床心理士資格認定協会の研修証明書は、定められた基準に基づいて申請いたします。

※ IT 機器での入力記録、録音、録画は禁止です。

《申込み・問合わせ先》

 谷町こどもセンター セミナー係

〒542-0012 大阪市中央区谷町9丁目3-11 東谷町ビル 3F

Tel:06(6767)6701(代) Fax:06(6767)6702

E-mail:[tanimachiseminar@yahoo.co.jp](mailto:tanimachiseminar@yahoo.co.jp) (セミナー事務局)

<http://www.kansai-kodomo.jp/>